

要請番号 (JL54823B31)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タンザニア	G131 空手道	20~45 歳のみ	個別	新規 4代目	2年	・2024/2・2024/3・ 2025/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

内務省

2) 配属機関名 (日本語)

タンザニア警察学校

3) 任地 (キリマンジャロ州モシ市) JICA事務所の所在地 (ダルエスサラーム市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+バスで約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、国内に3ヶ所ある警察学校の一つで、最大の施設規模を誇る。1967年に設立され、職員数は約420名、約4,000名の訓練生が所属している。施設内には、宿泊棟、グラウンド、体育館などの設備があり、国内唯一の新人警察官を育成する学校でもある。また、中堅警察官の再研修、鑑識、捜査、逮捕術、無線、警察犬などの各種訓練コースも実施されている。JICA海外協力隊は柔道隊員が5名(2017年3月まで)、空手道隊員が3名(2010年6月まで)派遣されていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

タンザニア警察では、護身術と体力育成、警察官として格闘技の習熟を主な目的として、新人研修コースおよび現職警察官再研修コースにおいて武道が組み込まれており、空手道もその一つである。配属先には柔道、空手道のJICA海外協力隊を複数派遣しており、活動への評価は高い。配属先は警察官の格闘技術の向上を目的に、組手などの実践的な指導、また、護身術の指導が可能な海外協力隊員の派遣を希望しており、今般、要請が提出された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚教官と協力して、以下の活動を行う。

1.同僚教官を対象とした、空手の指導及び指導方法の助言。

2.訓練生を対象とした、空手指導。

3.教官、訓練生を対象とした、護身術の指導。

*空手道の流派については、剛柔流若しくは松濤館流が望ましい。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

道場(木枠にもみ殻を敷き、テントのシートをかぶせた施設を利用)、背筋力計、握力計、ストップウォッチ、パンチングミット

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:教官長:40代、男性

教官11名:20代~40代、男性9名、女性2名、空手、テコンドー初段~二段程度

活動対象:訓練生約100名(10~30代、初心者)、教官

5) 活動使用言語

スワヒリ語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(空手道四段)

[学歴]：() 備考：

[性別]：(男性) 備考：配属先要望による

[経験]：(競技経験) 10年以上 備考：教官に対する指導も行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(15～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

タンザニアの赴任後の研修でスワヒリ語を学習する予定。